

## ◇深 沢 義 一 君

○議長（後松一成君） 次に、41番、深沢義一君の一般質問を許可いたします。

（41番 深沢義一君 登壇）

○41番（深沢義一君） おはようございます。通告に従いまして質問をいたしますが、一言申し上げ質問に入らせていただきます。

平成の大合併、県内のトップを切って誕生した我が美郷町も、さきの町長選挙においてそのかじ取り役も決定し、まさに初航海へと船出をしたところでもあります。融和と前進を旗印に、公平・誠実・展望をモットーとして、2万3,900余名を乗せ、夢と希望に満ちた松田丸が出航したところでございますが、町当局はもちろん議会、そして住民の一人一人が他に誇れる町を目指して、まさに一丸となって新しい町美郷町をつくり上げていかなければならないと思うところでもあります。

さて合併により誕生した当地域美郷町における町づくりは、町長が申されるとおり融和と前進がキーワードであると考えているところでありますし、このことは選挙戦を通じ、あるいは広報等を通じながら、町民の間にも広く認識され、浸透しておると感じておるところであります。それではそのキーワードを念頭に置きながら、町づくりのについての質問3項目について1問ずつ質問をさせていただきます。

まず初めに、融和のための施策であり、安全・安心のための施策であると考えます防災行政無線についてであります。地域融和を図る上で、情報の共有化は不可欠なものでありますし、またその融和も安全・安心の上に成り立つものと考えているところであります。特に、災害時など緊急時におけるいち早い情報の提供は、大変に重要なことでもありますし、住民の安全を確保する上でも大変有効なシステムであると考えているところであります。また、行政事務のお知らせあるいは催し物や各種行事の案内などの情報伝達など、町の活性化にも役立つものと考えますが、設置に向けた町長の考えをお伺いするものであります。

○議長（後松一成君） 答弁。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） 深沢議員のご質問にお答えいたします。

防災行政無線の設置についてですが、現在美郷町には災害時に町内全域住民に災害等の情報を瞬時に伝達できる防災行政無線設備はありませんが、今般の新潟県の中越地震等を踏まえ、千屋断層を抱え、かつて六郷地震があった美郷町においては、災害情報伝達の有効な手段について十分な検討が必要なものと存じます。そのため郡内では、仙北町や田沢湖町などで整備されている防災行政無線について事例調査を行うとともに、最新の機器システム

の状況や導入コスト、メンテナンスコストなどを多角的に把握し、美郷町としての防災計画策定に当たってその整備の必要性等を検討してみたいと存じます。

以上をもちまして答弁を終わります。

○議長（後松一成君） どうぞ。

○41番（深沢義一君） 現在、県内における防災行政無線の未整備行政は、14市町村と聞いておりますが、それだからというわけでもございませんが、有利な財源も活用できるやに聞いておりますし、当地域においてはただいま町長が申されましたように、明治29年の六郷地震の起因である活断層千畑断層もあるわけでもございますし、新潟中越地震のような大きな震災が起きないとは言えないわけでもございますので、実現に向けて特段のご検討をお願いしたいものと思います。

次に、人材育成についての質問であります。町が前進、発展していくための基礎は、何といっても人づくりにあると考えるところであります。新町建設計画にも、人づくりについてはみんながふるさとをつくる町づくりとして、人材の育成についての重要性を唱えておるところであります。私なりの考えといたしまして、特に子供と女性、そして担い手に重点を置いた次の4点について意義ある施策と考えておりますが、町長のお考えをお伺いしたいと思うところであります。

まず一つ目には、中学生を対象とした子供議会の開催、二つ目には小中学生を対象とした国際交流、海外研修の実施、三つ目には男女共同参画という観点からも女性の声を生かす施策としての女性議会や研修事業の開催、四つ目には農業、商工業における担い手育成研修の開催、これらの実施に向けた町長の考えを伺うものであります。

○議長（後松一成君） 答弁。

○町長（松田知己君） ただいまのご質問にお答えいたします。

初めに、中学生を対象とした子供議会の開催についてですが、子供議会の開催については、これまで三つの中学校が総合学習の中で、それぞれ六郷中学校では平成11年11月に、千畑中学校では13年11月と14年11月に、仙南中学校では16年7月に実施されてきたところであります。行政が学校に働きかけて強制的に実施することは、総合学習の目的上好ましいものではないと考えておりますが、総合学習等の一環として地域について学び、郷土に関心を持つ観点で学校の要望やあるいは取り組む意欲があれば実施してまいりたいと存じます。

次に、小中学生を対象とした海外研修等についてですが、千畑地域では平成12年度から毎年実施し、これまで22名の千畑中学校の生徒が研修に参加しております。また、仙南地域でも平成13年度から計画し、アメリカの同時多発テロやイラク戦争などにより実施が延期となりましたが、平成14年度から16年度現在まで毎年実施し、これまで63名の仙南中学校の生徒が研修に参加

しております。今後とも生徒たちが国際的社會教養を持ち、広い視野を持った人材に育っていくよう、3中学校を対象に実施してまいりたいと考えております。なお、小学生においては、安全性確保などの観点から集団での研修実施は難しいものと考えられますので、まずは中学生を対象に実施してまいりたいと存じます。

次に、女性の声を生かす施策としての女性議会や各種研修事業についてですが、新町建設計画においては信頼と親しみのある開かれた行財政の運営の項において、これらを推進するために住民参加と男女共同参画の促進をうたっております。美郷町では男女共同参画を積極的に進めるべく、平成17年8月をめどに計画の策定を進める予定でありますので、議員ご質問の女性の声を生かす施策について、女性議会や各種研修事業のみならず、女性の方々の意見や要望を取り入れた行政運営に心がけてまいりたいと存じます。

次に、農業、商工業における担い手育成研修についてですが、農業における担い手の確保、育成については、農業を基幹産業とする本町では重要な課題と認識しております。これまでも担い手の核をなす認定農業者の組織、認定農業者協議会が実施する研修会等への支援を行っておりますし、新たに複合部門に取り組む農業者の技術習得のための研修制度であるフロンティア農業者育成事業も実施してきております。このほか農家や農業の担い手を対象として、県普及指導課とも連携を図りながら、農業経営改善のための簿記講習会、青色申告制度の説明会、消費税改正に伴う講習会、農業法人説明会などを開催しております。美郷町ではこうした旧3町村の施策を継承しながら、担い手育成研修を進めてまいるほか、県の農業会議が実施している事業を活用して研修支援を講ずるとともに、意欲ある担い手に対して普及センター、農協等の関係機関と連携をして支援チームを設置し、担い手への支援体制を整備してまいりたいと考えております。また、商工業における担い手育成については、さまざまな経営課題を克服していくために、経営陣の担い手育成策として、美郷町商工会に補助金を交付し、パソコン研修会や先進地研修、県が実施している企業人育成研修など、各種研修会への参加を引き続き支援してまいりたいと存じます。今後とも商工会や関係行政機関と連携を密にとりながら、ニーズに即した商工業の担い手育成を支援してまいりたいと考えております。

以上で答弁を終わります。

○議長（後松一成君） どうぞ。

○41番（深沢義一君） ただいまの質問につきましても、ぜひ早期実施の方向でご検討をお願いしたいと思うところであります。

次に、最後の質問になりますが、高齢者の生きがいくつりと熟年パワーの活用であります。

昨日の議案説明の中にもありましたように、当地域においての高齢者比率は28.4%と高い数値

を示しておるところであります、熟年熟練のパワーとでも申しますか、まだまだ健康で現役として頑張っておられる方々が多数おられることも周知のとおりであります。仮に70歳以上を高年齢者比率として見た場合には21%となりますし、決して暗いイメージとは言えなくなると思うところあります。新町建設計画にも、高年齢者の生きがい対策としてシルバー人材センターの設置と機能の充実とありますが、ネーミング等にも一考を持ちながら、熟年パワーを活用しながらの生きがいづくりが必要と考えますが、町長のお考えを伺うものであります。

○議長（後松一成君） 答弁。

○町長（松田知己君） ただいまのご質問にお答えいたします。

現在、65歳以上の高年齢者は、議員がおっしゃるとおりおよそ6,800人、28.4%となっております。こうした高年齢者の生きがい対策の一環として、高年齢者の持っている技能や経験、知恵を地域のために、そして自分のために発揮することができるシルバー人材センターが設置運営されておりますが、依頼も順調に伸びており、今後も全町においてそうした活動に取り組めるよう勧誘に努めてまいるとともに、作業内容についても幅を出すよう検討し、より多くの方々が生きがいをもって、そして熟年パワーを活用していただけるよう検討してまいりたいと存じます。また、さらに生涯学習講座の充実強化も含めて、高年齢者の方々が生き生きと生きがいを持って生活を重ねられるよう、意を払ってまいりたいと思います。以上をもちまして答弁を終わります。

○41番（深沢義一君） 質問の終わりいたしますが、今定例会における一般質問は来年度予算編成における施策提言と考えておるところでありますので、実現に向けた取り組みを切に要望いたしまして、質問を終わります。

○議長（後松一成君） 以上で、41番、深沢義一君の一般質問を終結いたします。